



JA なんすんから 寿太郎ミカンを学校給食へ

(2月16日)

南駿農業協同組合組合長の岡田晃一さんらが市役所を訪れ、西浦みかん寿太郎とぬまづ茶を寄贈しました。「子どもたちに地元の特産物を知って、誇りを持ってもらいたいです」と岡田さん。寄贈された寿太郎みかんは、市内の各小学校の学校給食で提供されました。

映画の撮影の舞台裏を

(2月23日)

『すそのロケフェスタ2022』を、市役所地下多目的ホールで開催しました。市内でも撮影が行われた映画『樹海村』で助監督をつとめた川松尚良さんと特殊メイクアップアーティストの百武朋さん、ケイタリングの料理人、こみずとうたさんをゲストにお招きし、仕事の内容や撮影の舞台裏などを伺いました。ゾンビメイクの実演も行われました。



すそのんの誕生日を みんなで祝い

(2月23日)

2月23日が誕生日の市のマスコットキャラクターすそのん。誕生日の前後にすそのんバースデー・ウィーク2022と題し、スタンプラリーなどのイベントを行いました。23日(水)には、すそのんファンミーティングを開催、会場に思い出の交差点でおなじみの歌手の太田克樹さんとカテリンさん、フルヤトモヒロさんが駆けつけお祝いしました。

旧植松住宅かやぶき屋根修繕

(2月25日)

中央公園にある国指定重要文化財の旧植松住宅で、かやぶき屋根の修理を学ぶワークショップが行われました。かやぶき屋根職人の峰さんを講師に、11人の参加者が道具を使った修理体験や縄結び体験をしました。「普段見慣れない道具を見ることができて、面白かったです」と参加者の皆さん。貴重な体験になったようです。





東富士演習場内野焼き

(2月26日)

病害虫の駆除や演習に伴う火災を防ぐため、東富士演習場（大野原）で野焼き作業が行われました。今年は積雪の影響で、2週間ほど遅れて実施となりました。当日は絶好の好天。地元の権利団体の役員らが各所で点火を始めると、一帯が炎と煙に包まれました。富士山麓に春の訪れを告げる野焼き作業、そのスケールの大きさに魅了されました。

特派員 杉本 武満

婦人学級作品を 富岡コミセンへ展示

(3月7日)

富岡地区コミュニティセンターで富岡地区婦人会学級の参加者が作った作品が展示されました。作品は、パン粘土で作ったイチゴやフラワーリース、習字教室で書いた書道作品などです。「行事がなく発表する機会を失っていました。展示することができてありがたいです」と富岡地区婦人会長の小河さん。手芸の花やイチゴは、まるで本物のようでした。



東中学校の壁画がリニューアル

(3月11日)

東中学校の玄関前にある壁画がリニューアルされました。壁画に描かれているのは、富士山、制服姿の生徒と飛び立つ鳥です。鳥はアルミで作られていて、3年生の生徒が1人1羽ずつ制作しました。「鳥が富士山の向こうへ羽ばたいて見えるように、配置のバランスを工夫しました」と美術部部長の長田さん。大きな力作が出来上がりました。

新小学1年生に黄色い帽子を寄贈

(3月14日)

明るい社会運動静岡県裾野地区協議会の林孝至さんが、市役所を訪問。黄色い帽子の贈呈式が行われました。「遠くでも目立つ黄色い帽子を児童の交通安全に役立ててほしい」と、同会が昭和52年から毎年寄付しています。入学式で新1年生全員に配布されます。

